

2018

地域包括ケア「見える化」システムによる 中川町の介護保険事業の状況

地域包括ケア「見える化」システムで公表されているデータを活用して、中川町の介護保険事業の状況を全国・北海道・近隣町村と比較し、中川町の現状と課題の分析を行いました。

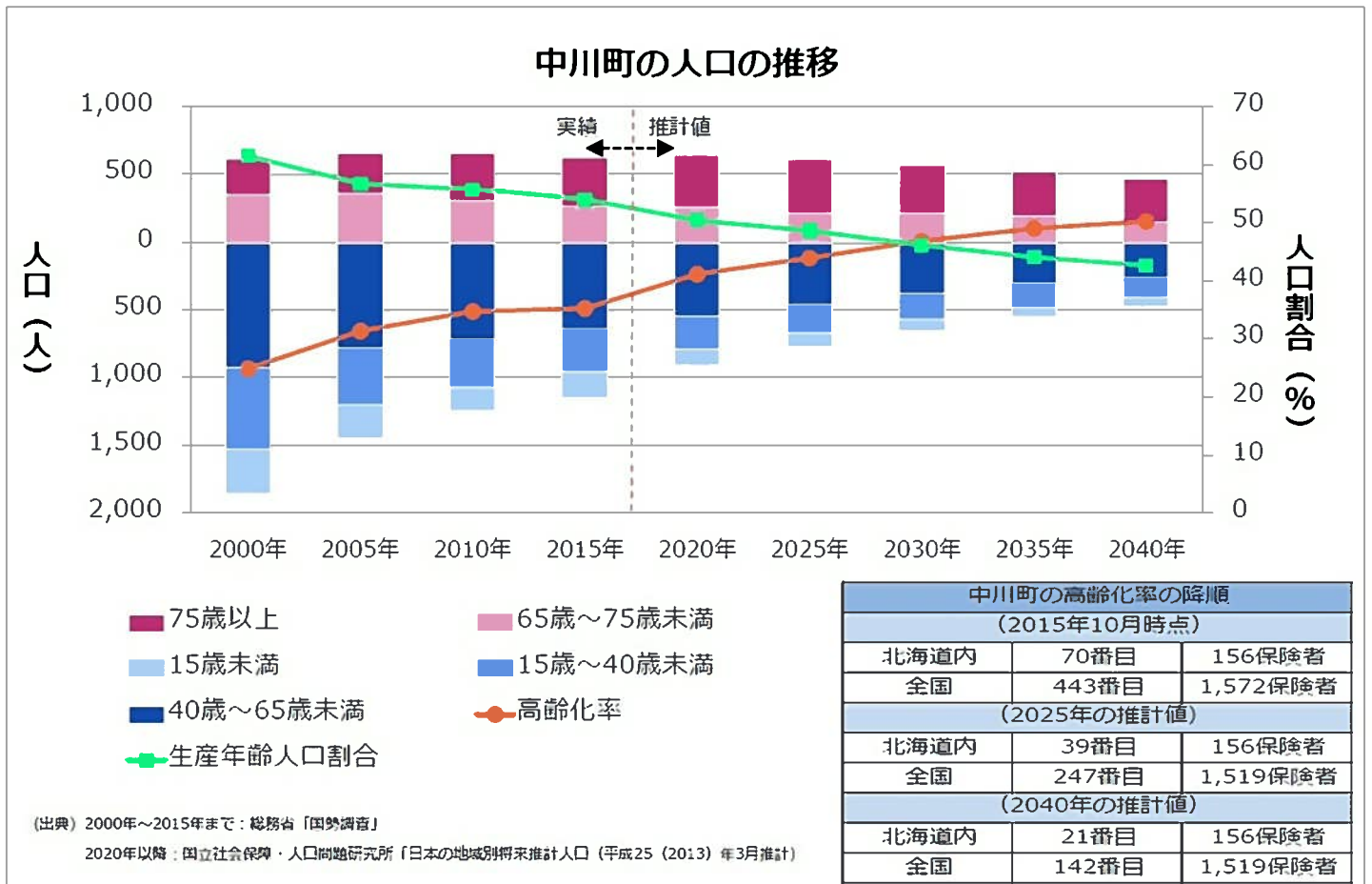
◆ 地域包括ケア「見える化」システムとは ◆

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムで、厚生労働省が運営しています。

介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報がシステムに一元化され、グラフ等を用いた見やすい形で提供されています。

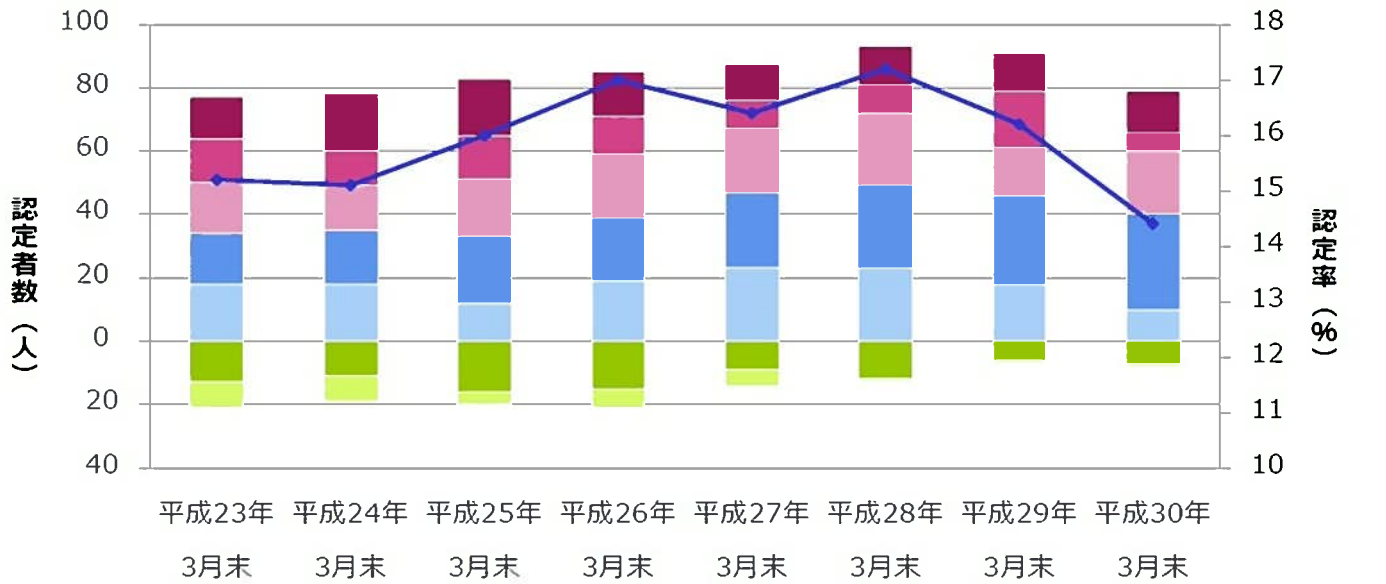
なお、このシステムは、一部の機能を除いてどなたでも利用することができます。

地域包括ケア「見える化」システム <https://mieruka.mhlw.go.jp/>



○国立社会保障・人口問題研究所の推計では、中川町の人口は、2025年には1,371人、2040年には943人となっています。高齢化率は今後も上昇する一方で、被保険者数は減少するものと推計されています。

中川町の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



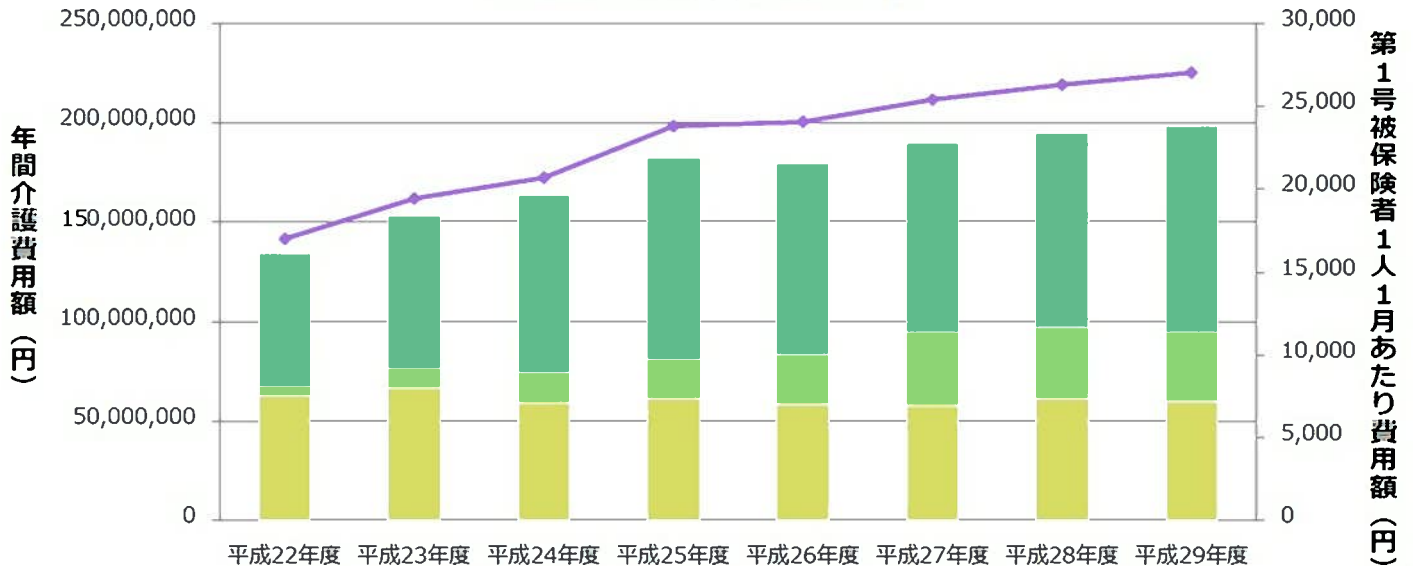
中川町の認定率の降順 (平成30年 5月末時点)		
北海道内	148番目	156保険者
全国	1,361番目	1,570保険者

- 認定者数（要介護5）
- 認定者数（要介護4）
- 認定者数（要介護3）
- 認定者数（要介護2）
- 認定者数（要介護1）
- 認定者数（要支援1）
- 認定者数（要支援2）
- 認定者数（経過的要介護）
- ◆ 認定率

(出典) 平成22年度から平成27年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、
平成28年度から平成29年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」

○要介護（要支援）認定者数、認定率ともに減少傾向となっています。

中川町の介護費用額の推移



中川町の第1号被保険者1人1月あたりの費用額の降順 (平成30年 3月末時点)		
北海道内	27番目	156保険者
全国	607番目	1,570保険者

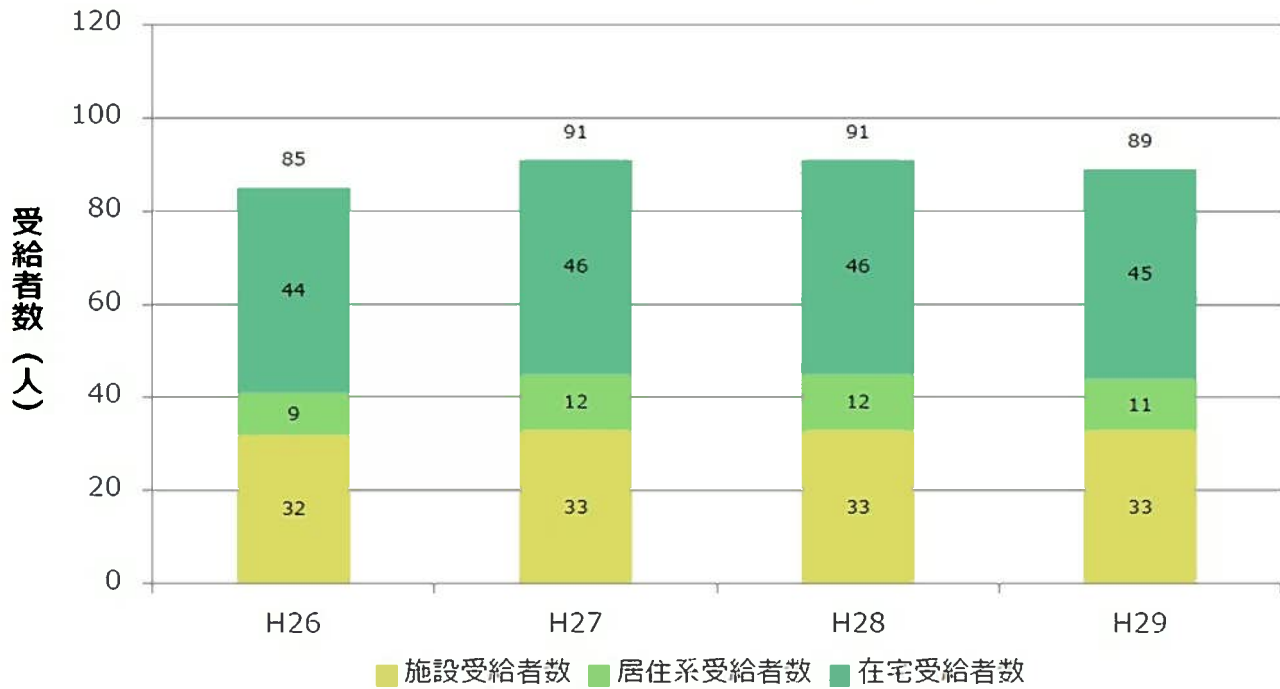
- 費用額（施設サービス）
- 費用額（居住系サービス）
- 費用額（在宅サービス）
- ◆ 第1号被保険者1人1月あたり費用額

(出典) 【費用額】平成22年度から平成27年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、平成28年度から平成29年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計
（※補足給付は費用額に含まれていない）

【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」における費用額を「介護保険事業状況報告（月報）」における第1号被保険者数の各月累計で除して算出

○介護費用額は年々伸び続けています。在宅サービスは横ばいで推移していますが、施設・居住系サービスが大きく上昇しています。

施設・居住系・在宅受給者数（中川町）

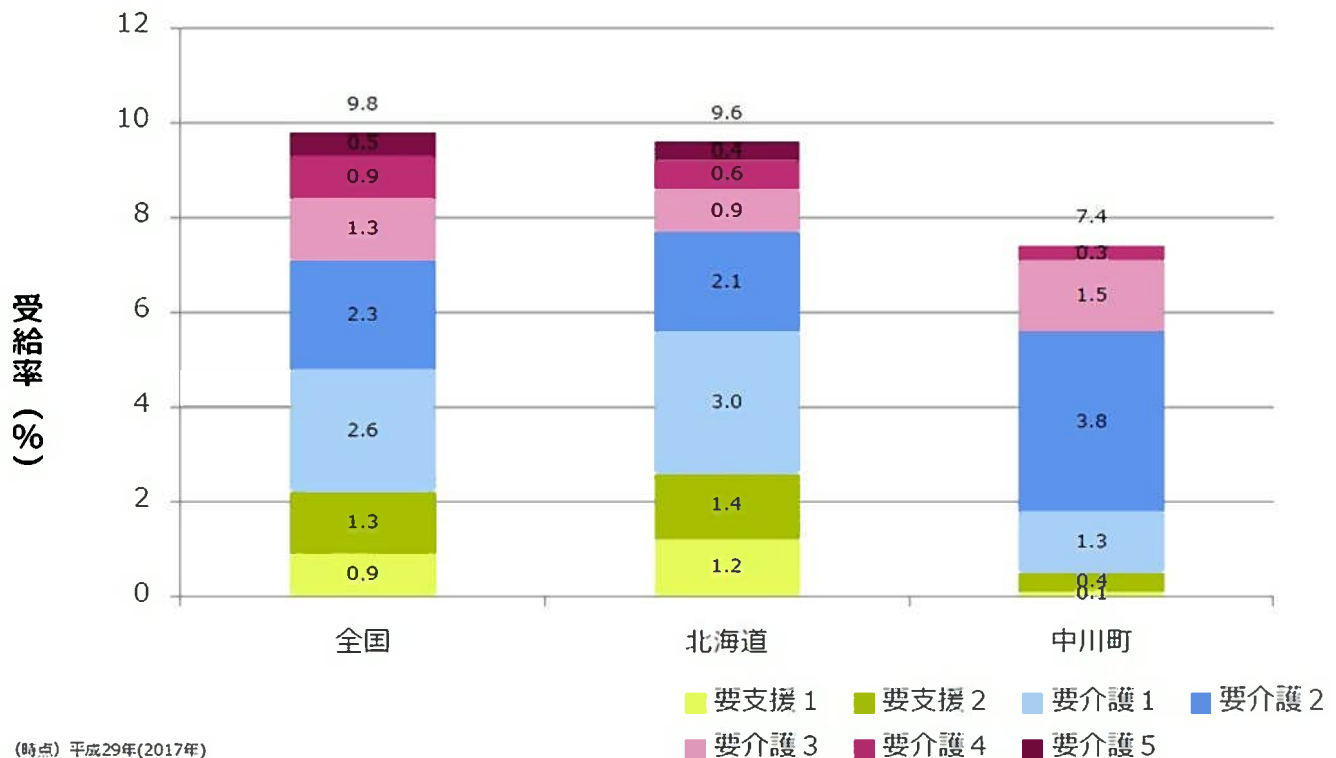


（標準地域）中川町

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報（12か月分の平均値）

○サービスの受給者数に大きな増はないことから、1人あたりの費用額の上昇が全体の費用額の上昇につながっていると推測されます。

受給率（在宅サービス）（要介護度別）（平成29年(2017年)）

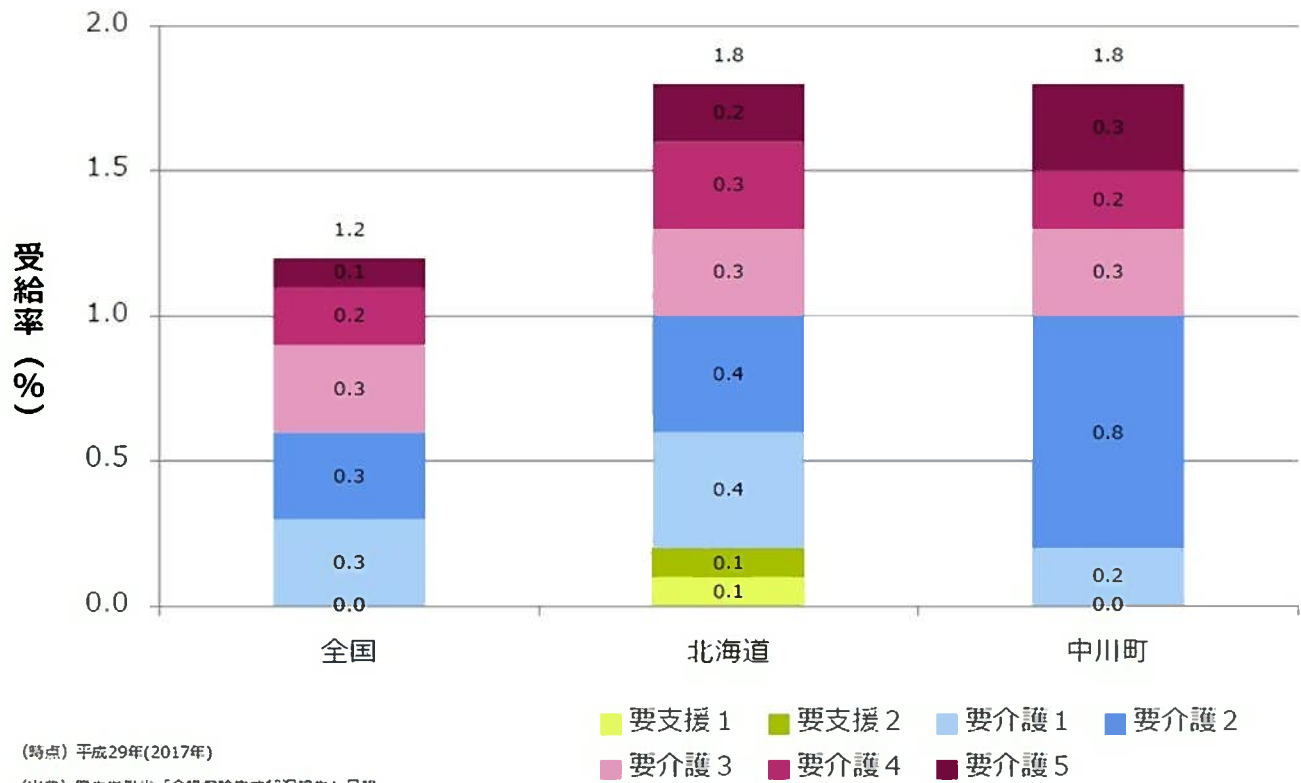


（時点）平成29年(2017年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

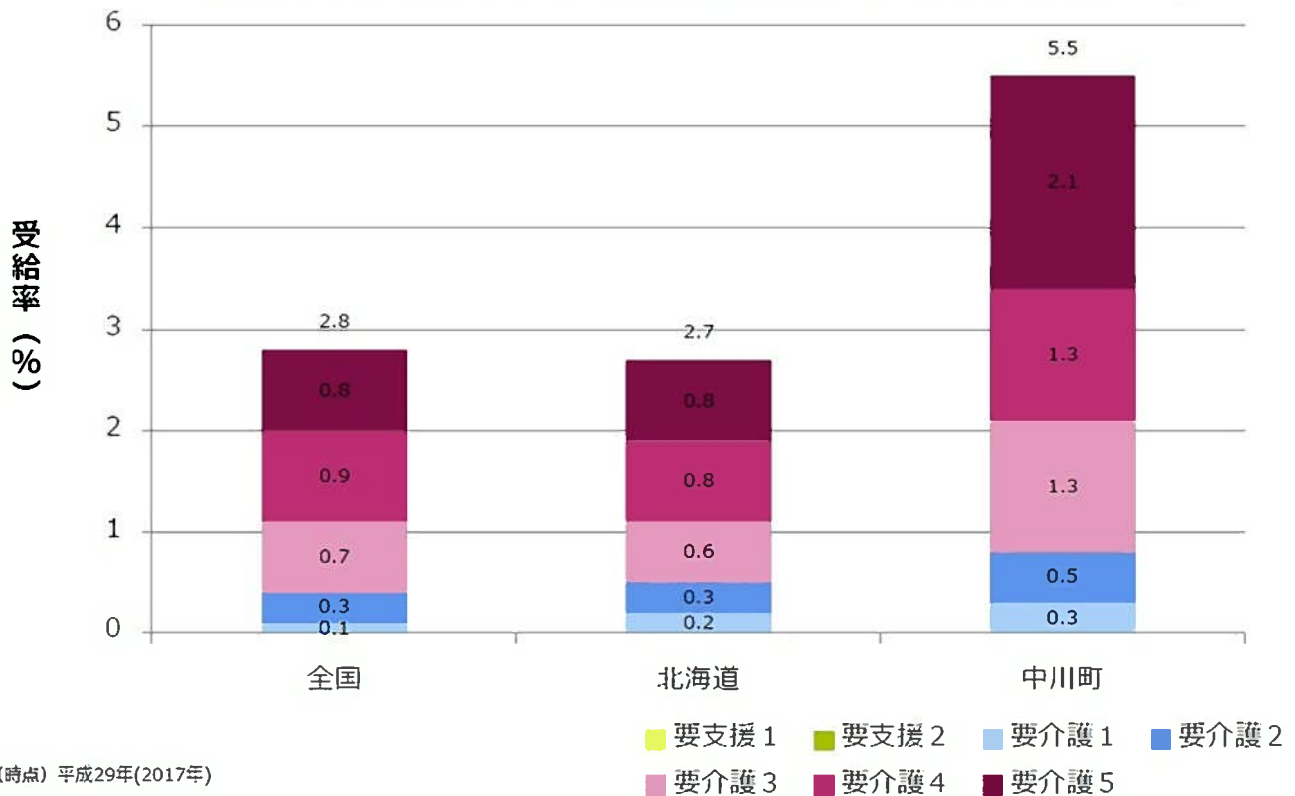
○在宅サービスの受給率は、全国平均より2.4ポイント、全道平均より2.2ポイント低くなっています。

受給率（居住系サービス）（要介護度別）（平成29年(2017年)）



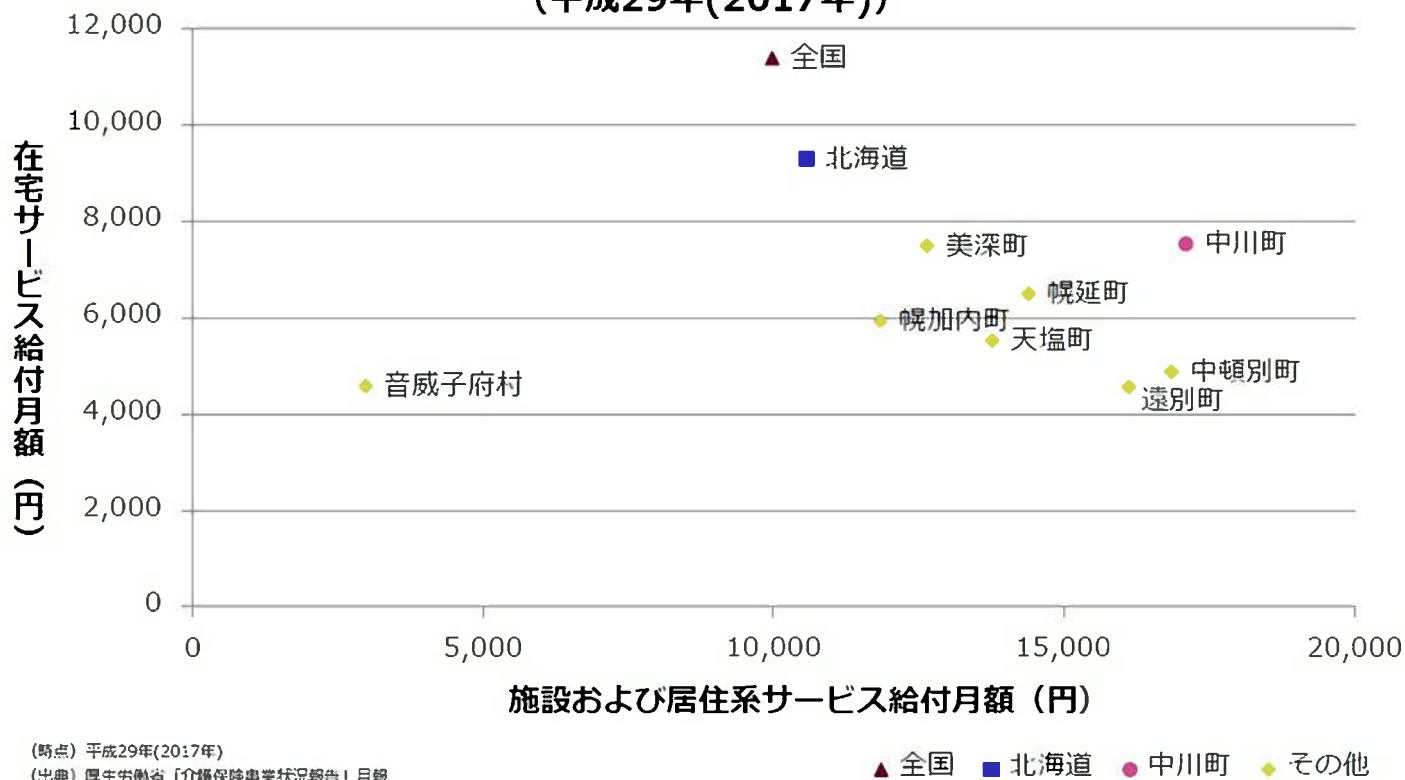
○居住系サービスの受給率は、全国平均より0.6ポイント高くなっています。

受給率（施設サービス）（要介護度別）（平成29年(2017年)）



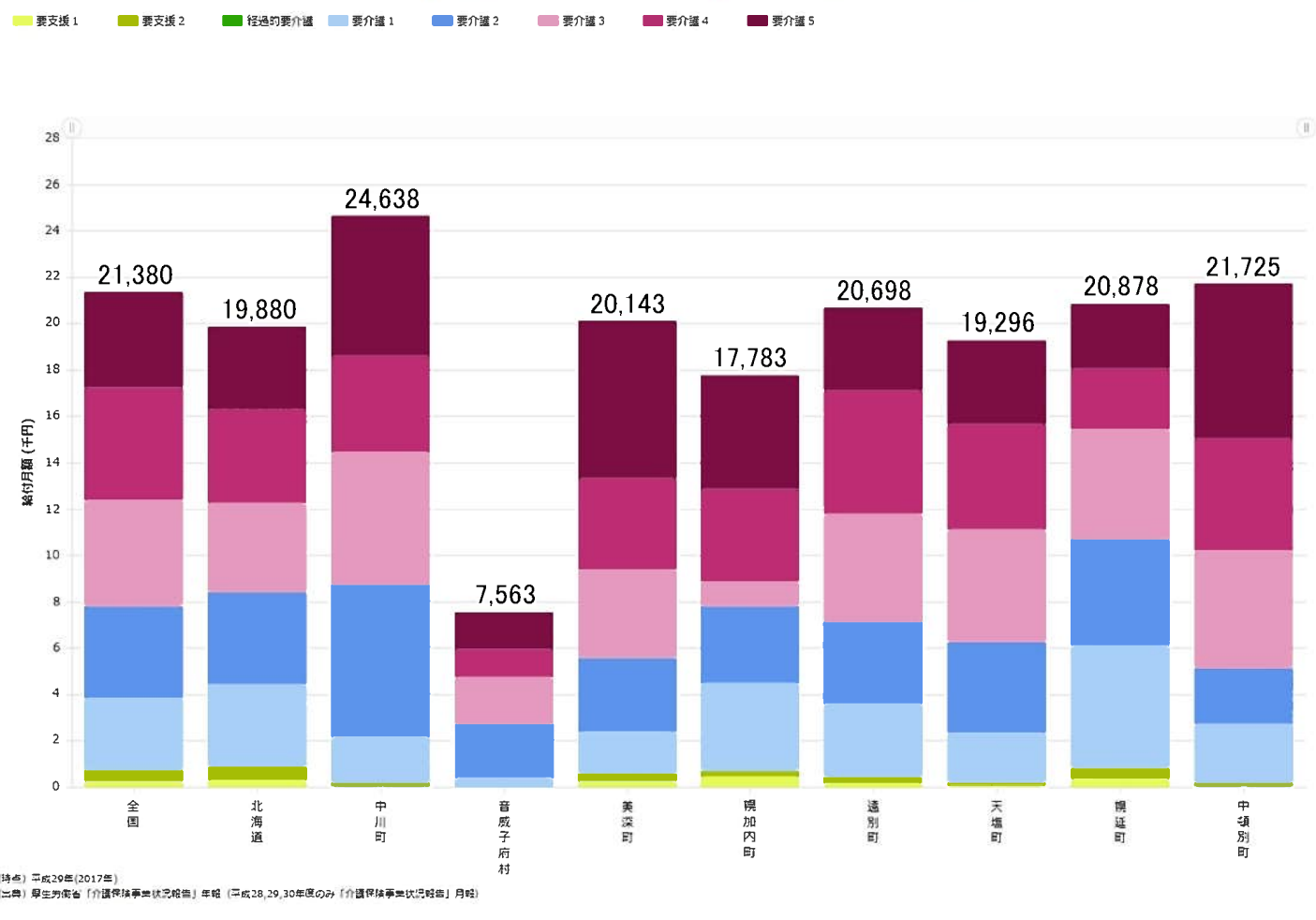
○施設サービスの受給率は、全国平均より2.7ポイント、全道平均より2.8ポイント高くなっています。中川町は在宅サービスよりも施設サービスに偏っている状況が見えます。

第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅・施設・居住系サービス） （平成29年(2017年)）



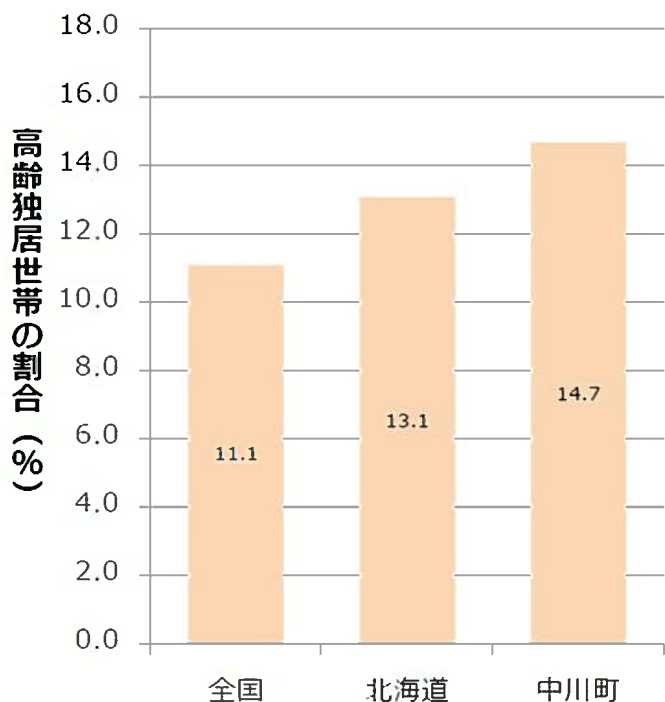
○近隣市町村と比べ、在宅サービス、施設および居住系サービスの給付額がともに高いことがわかります。

第1号被保険者1人あたり給付月額(要介護度別)



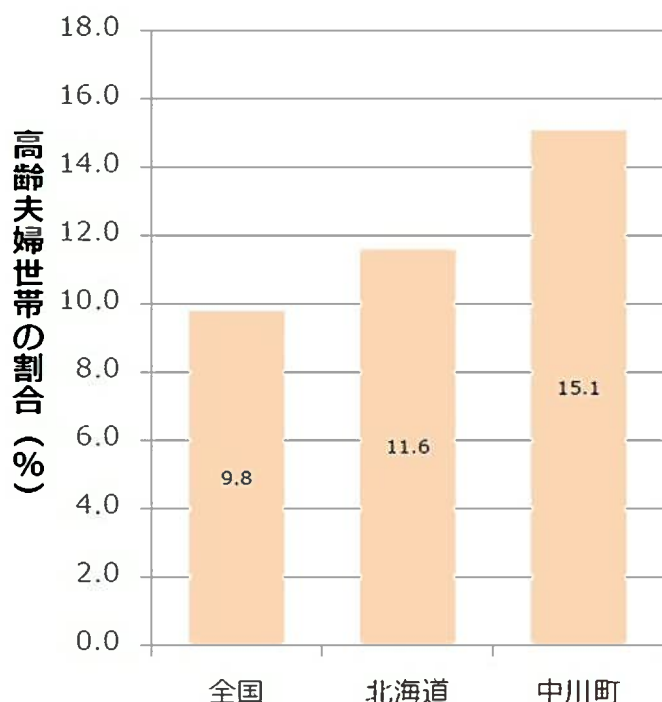
○平成29年度の1人あたり給付月額は、全国平均、全道平均、近隣市町村と比べ高いことがわかります。

高齢独居世帯の割合



(時点) 平成27年 (2015年)
(出典) 総務省「国勢調査」

高齢夫婦世帯の割合



(時点) 平成27年 (2015年)
(出典) 総務省「国勢調査」

●●● 地域包括ケア「見える化」システムのデータから見てくること ●●●

■中川町の状況

- 人口は減少傾向にありますが、65歳以上人口は横ばいで、高齢化率は上昇しています。
- 将来推計では、65歳以上人口も減少傾向となり、高齢化率はますます上昇すると見込まれています。
- 被保険者数、サービスの受給者数は横ばいとなっていますが、介護費用額は上昇しています。
- サービス受給率では、在宅サービスは低く、施設サービスは高い傾向があります。
- 高齢独居世帯、高齢夫婦世帯の割合が国・道よりも高くなっています。

■要因

- 高齢独居世帯、高齢夫婦世帯が多く、家庭だけで要介護者を支えられない状況があり、施設サービスの利用が増えていると考えられます。

■今後

- 住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、在宅サービスの提供体制や相談支援体制を整えます。
- 重度化防止のための介護予防の取り組みや、健康意識の啓発を進めます。